

# めぐみ厚生センター センターだより

第 359 号  
発行 2017年 5月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
どりいむ 0952(34)7727  
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063  
ピースハイム 0952(64)2012  
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一  
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

私は、柳川教会の牧師稲葉一です。毎年夏の三日間教会の子供たちと共に、皆様に温かくもてなしを受けています。私の一番大好きなイエス様の教えをお伝えいたします。「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。」(マタイ五・三) これは、イエス様を愛する人々にお答えした、神の憐みの御言葉です。ユダヤの社会、貧しい生活苦の隣人が神の救いを求める時。「イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが近くに寄って来た。そこでイエスは口を開き教えられた。」(マタイ五・一・二) そこに集う者皆、イエス様の愛を求めています。神様を礼拝するところは、自分と共に隣人の幸せをも望み、家族と仲間とも助け合い集まる神のみ国です。ここを、イエス様を囲んで、礼拝を捧げるヘブライ語で「ベテル」神の家と聖書は語ります。イエス様の語る福音は、いつも聖書の御言葉から父なる神の御心が教えられます。聖書が記す、「人の幸せ」とは何か、イエス様が地上で隣人として出会った



「幸いなるかな！」

日本キリスト教会 柳川教会  
牧師 稲葉 一

一人ひとりの信仰の心に寄り添われて共に共感された幸いな人々に顕されています。最初に、「幸いなるかな！」という呼びかけの音が神の家に響き渡る。イエス様が救い主としてこの地上に來られたから、誰もがもう不幸のままにされません。誰も不幸なところから幸を受けて回復されます。暗闇の中に救いの光を受けて助け起こされます。イエス様のやさしい声が「幸いなるかな」と神の家に招かれた一人ひとりの心の奥深くまで癒されます。それはイエス様の御言葉を心を開いて聴く人の信仰生活の中に結ばれ刻まれる幸いが現実によみがえります。イエス様の御言葉を今起きている事として心に聞く人は、神様の命の御言葉によって、その「幸いなるかな」の神のみ国に招かれています。「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。」イエス様は父なる神様の憐み深い御心を告げる、それは、イエス様ご自身が身を以て腸のねじ切れる十字架の上からの叫びの御言葉に連なる。「父よ彼らをお赦しください」(ルカ二

十三・三十四) 聞く者の社会的・精神的・肉体的、そして霊的な貧しさで主の癒しを渴き求める信仰心に命の清水として浸みわたります。さらに、今日もイエス様の憐みのみ声が世に建てられた神の家から響き渡る、「悲しむ人々は、幸いである」「柔和な人々は、幸いである」「義に飢え渴く人々は、幸いである」「心の清い人々は、幸いである」「平和を実現する人々は、幸いである」「義のために迫害される人々は、幸いである」と神の御国の祝福をイエス様が聖霊の御力にて、隣人である一人ひとりの心に命として宿ります。イエス様の隣人とは、イエス様が愛された聖書、申命記二十四章に記されている、父なる神の憐みが福祉の指針として伝えられています人々です。続いて、福音書から、イエス様が出会い罪を赦され病を癒され救われた隣人たちは、みな「心の貧しさ」を持った者。神様の幸を愛する神の家に住む人たちに豊かに注がれます。「神へのいけにえは、砕かれた霊、砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません」(詩編五十一・十七・十九) 神の家の人々の喜びは復活のイエス様がいとも共にいて幸を分かち合ってくれる毎日の生活が喜びなのです。皆様にイエス様の幸がいつまでも満ち溢れますように祈ります。



# めぐみ園

☆☆平成二十九年☆☆  
めぐみ園のご紹介

四月三日に皆さんに新年度の体制を発表し、新たな年度を迎えました。



今年度は利用者の方の日常活動をより充実させようと考え、活動Ⅱをさらに細分化しグループに分け、利用者さんの現状に応じた活動が出来るようにしています。  
利用者さんやご家族の方地域の方と職員が笑顔で過ごせるよう取り組んでいきます。  
(職員一同)

## 佐賀城下ひなまつり見物



二月十五日、作業班で佐賀城下ひな祭りを見学に行きました。  
沢山のかわいらしい雛人形を見てみなさんとても楽しんでいました。



## 茶道(野点)



三月二十八日、桜のつぼみと暖かい春の日差しに包まれた中、園の運動場にて野点を行いました。  
今回は、先生が持参された春の野



花達と一緒にお茶とお菓子を楽しみました。  
また、友達や職員を招待して日頃の成果を披露することができました。  
(さくら)

## 救急法研修

三月八日、職員を対象とした救急法の研修を行いました。  
実際に人形を使って



の人工呼吸や心臓マッサージ、AEDを使った訓練を救急隊の方から学びました。実際の場面に遭遇した場合に冷静に対応出来るかが重要ですが、日頃から意識を持ち手順や回数等を復唱することも大切だと思います。  
(od田)

## イースターレク



イースターの由来が良く分かりました!



四月十九日に主イエスの復活をお祝いするレクを楽しみました。  
礼拝ではイースターに関する聖書の話聞き、紙芝居で分かり易く説明してもらい、その後は卵を使ったゲームをしてみんなで楽しみ、イースターをお祝いしました。  
(コガ)

## どりいむ 地域活動センター

### 一日外出(花見)

三月三十日(木) スーパーでお弁当を購入して金立公園までお花見に出掛けました。

今年桜の開花が遅くあまり咲いては



いませんでしたが、菜の花、木蓮が咲きとても綺麗でした。その後、公園内を散策し、帰りには金立SAでお土産を購入!

皆さん「楽しかった」と満足された様子でした。  
(M)

## はっぴい 放課後等デイサービス

### 花見

昨年からはまったのはついでの花見♪今年も予定通り、牛津の陽だまりの丘公園に行くことができました。



ひらひら舞う桜の花びらがとても綺麗でしたがそれよりもお弁当と遊ぶことに夢中の子どもたちでした♪  
(コガ)

# 富士学園

## お花見ドライブ

四月三日(月)晴天にも恵まれたこの日、利用者の皆様と職員で、『道の駅大和そよかぜ館』までお花見ドライブに行ってきました。

今年が桜が咲くのが例年より比較的に遅く、残念ながら満開とまではいきませんでした。今回の外出に参加された多くの方が、綺麗に咲いている桜の木々を笑顔で見つめられていました。

桜を眺めながらのティータイムを皆で楽しめた後、道の駅のすぐ側にあります、川上峡の鯉のぼりの吹流しを見学され、最後に多布施川沿いの桜並木ドライブを満喫されました。

終始、笑顔の絶えないとても有意義な外出のひと時となりました。

(すえ)



## 春の行楽外出・どんぐり村

四月十四日(金)春の行楽外出で、『どんぐり村』まで行きました。最初に『ロードトレイン』といわれる列車に皆で乗車し、園内巡りを楽しませました。



その後、穏やかな春の陽光の中、園内を散策した後、食事場所にて、昼食の筍ご飯に舌鼓をうたれました。



食後は売店でそれぞれが好まれるお菓子やジュース、お土産等を購入されました。



帰りのドライブでは、大和町にある、チューリップ畑や、小城公園の桜を鑑賞された後、笑顔で帰路に就かれました。

(KF)

# ウイズ富士

## 農芸倉庫が新しくなりました

三月一日より新築工事が始まり、暫くは機械倉庫で作業を行っていましたが、三月二十四日に完成して引越しをしました。



以前に比べて室内も明るく、倉庫内に洗い場やエアコンが設置されて快適に作業を行うことができますようにになりました。農芸科の利用者の皆様も大変喜ばれて、綺麗に保とうと毎日掃除をして下さっています。これからも頑張つて美味しい野菜を作つて行きますのでよろしくお願ひします。

(山)



皆さんでにっこり、ピース

# ピースハイム

## 春ですす!

◆ニユーフェイスが加わりました



四月から『ピースハイム富士』に福田真人様が入居されました。初めてグループホームでの生活となりますが、他の入居者と一緒に毎日元気に過ごされています。よろしくお願ひします。

## ◇桜咲く!

例年より遅い開花でしたが、今年も多布施川沿いの桜も綺麗に咲きました。

多布施・緑小路エリアの皆さんが近所を散歩されました。

(K&K)



# 新任職員紹介



めぐみ園



生活支援員 畑田 孝志

利用者の方に寄り添った支援を心掛け、共に喜びを分かち合えるよう努力します。



生活支援員 横尾 尚人

利用者の方の笑顔に励みしながら、初心を忘れずに頑張ります。



生活支援員 前田 大樹

笑顔をとれず、利用者の方の豊かな生活に繋がるよう努力します。



生活支援員 山本 恭子

利用者の方の笑顔に助けられながら、健康第一に努めたいと思います。

## 聖句

神に従う人の道を主は知っていてくださる。神に逆らう者の道は滅びに至る。

(詩編 一編 六節)



生活支援員 合川 敦子

利用者の方との生活の中で、お互いに幸せを感じられるような支援を目指します。



生活支援員 坂口あずさ

元気に、明るくを心掛け、利用者の方との楽しい生活を築いていきたいと思えます。



生活支援員 今泉 晴喜

細かい観察を行い、正しい評価をし、利用者さん個人に合わせた支援を行ってまいります。



生活支援員 木村 清香

利用者の方の気持ちを考え、笑顔で過ごしていきます。



生活支援員 千綿 理子

利用者の方の笑顔が絶えないような支援を心掛けたいと思います。



管理栄養士 高尾穂乃香

笑顔になる食事の提供と栄養のケアに努めます。



はっぴい

児童指導員 白濱 裕一

利用者様が笑顔になれるような支援ができるように頑張ります。



富士学園



生活支援員 中山 淳平

利用者様が楽しんで生活出来るよう支援して行きたいと思えます。



生活支援員 藤島 礼子

利用者の方々の気持ちに寄り添って支援をして行きたいです。



ピースハイム

ホーム支援員 佐藤 ルミ

母親のように温かく、優しく、たくましく広い心を持って支援できるように努めてまいります。



ホーム支援員 松本 玲子

利用者が、楽しく過ごされるような支援をして行きたいと思えます。



ホーム支援員 米満 由子

利用者の方の笑顔が、皆さんの存在になれるよう頑張ります。



巡回支援員 副島 裕臣

入居者の皆様は、笑顔で毎日を過ごせるように支援してまいります。



辞令交付式の様子

## あ と が き

新年度を迎え、職員の異動もあり、それぞれに新たな気持ちで歩みを始めています。

編集委員も若干代わっており、皆様に法人の活動や状況をお伝えして、共に支え合いながら永く続くことを祈っております。

(od田)

